第12号　2019年10月発行

NISHIREHA INFORMATION MAGAZINE

西知多リハビリテーション病院情報誌

西リハだより

病棟生活を楽しく!

当院では毎食、各部屋ではなく、食堂で他患者さまと一緒にテーブルを囲んで召し上がっています。

今夏、ランチバイキングを開催しました。患者さまに合わせて、普通食・軟食・移行食（粒ペースト再形成）のものを準備しました。なかでも、エビフライが人気NO1!(^^)!　デザートは10種類以上あり大好評でした。

本日のお品書き

五目ご飯、ちらし寿司、そば、サンドウィッチ
天ぷら（4種）、フライ（エビ・クリームコロッケ・ホタテ等）、中華肉団子、焼売、茶わん蒸し、
錦糸卵のエビしんじょう、サラダ2種、和菓子、
ゼリー、ムース、ケーキ4種、フルーツ4種

安来節保存会ボランティアグループ「どじょっこの会」の皆様に来ていただきました。安来節は島根県の民謡です。本格的な「どじょうすくい」踊りを披露していただき、入院患者さまもザルを振ったり手拍子をとったりと大変喜ばれ楽しい時間を過ごしていただきました。

今秋はおすしバイキングを予定しています。

マグロ・サーモン・穴子・たまご・いくら・えび・ねぎとろ・いなり等々があります。患者さまのリハビリの励み、息抜きとなるような楽しい病棟行事を今後も計画していきます。

装具療法やってます！

装具療法とは、身体機能の補助・傷病の治療・変形の矯正などの目的で使用する、身体外部に装着する機器の総称です。

医師・義肢装具士・理学療法士・作業療法士らが、患者さまの身体機能や生活環境に合わせたものを提案しています。

装具の種類

装着する部位によって上肢装具・体幹装具・下肢装具に分かれます。また、怪我や事故、病気により部分的に失われた手足の外観や機能を補う義肢（義手・義足）もあります。

装具・義肢にかかる費用は、それぞれの用途や使用目的に応じて各種制度のもとで公的な補助を受けることができます（一部費用の立て替えが必要です）。これら制度に関する手続きも製作時に説明しています。

当院では

入院や外来の患者さまが装具を製作する場合、必要度や費用について医師・リハビリスタッフから本人・家族へ説明しています。医師の処方を受けて義肢装具士が定期来院日に採型しています。

装具を使用してリハビリすることにより目標レベルに到達しやすくなります。また、正しい歩き方を覚えたり、望ましくない変形を予防することもできます。

骨折で入院中のTさんはＰＴＢ装具を製作しました。ＰＴＢ装具とは、膝蓋靱帯で（膝のお皿の下にある靱帯）で体重を支え、下腿や足部を免荷（足に体重がかからないように）する装具です。

②・③石膏で足型を採ります。④実際につけて装着感を確認しながら調整します。１週間後に完成です！

外来患者さまの装具の相談・修正・採型も行っています。種類により耐用年数は異なりますが、新しく作り替えることも可能です。装具が合わない等ありましたら当院代表電話へご連絡いただくか、スタッフへ直接ご相談ください。

当院の言語聴覚療法!

（言語聴覚士（Speech-Language-HearingTherapist：ST）

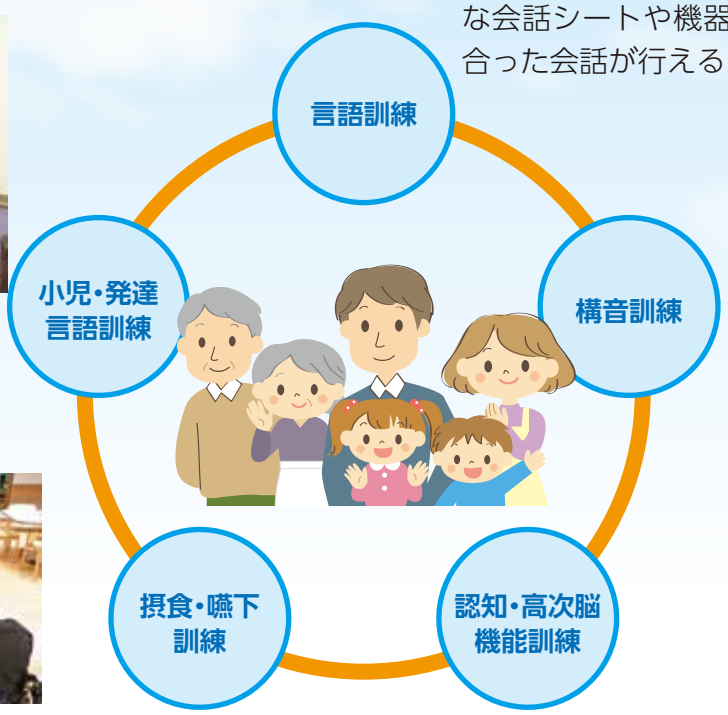
聞く、話す、読む、書く、食べる・・・。誰でも自然に行っていることが障害や病気、事故、加齢等により難しくなることがあります。

言語聴覚士はこのような、聞こえ、ことば、飲み込みなどが難しくなった患者さまに検査・訓練・指導・援助を行いより良い生活が送れるよう支援するリハビリテーションの専門家です。

当院では8名が在籍しており、入院・外来・訪問リハビリを行っています。

【言語発達遅滞】
知的発達の遅れ、言語学習の障害、対人関係の障害（自閉症等）によりコミュニケーションに不安のあるお子様に訓練を、親御様には助言・指導等を行い発達を促していきます。

【失語症】
絵や文字のカード、プリントなどを使い、言葉の理解力を高めたり、日常生活に必要な物の名前がスムーズに出るよう訓練を行ったり、コミュニケーションをとる為に必要な会話シートや機器を準備し、患者さまに合った会話が行えるように訓練します。



【構音障害】
呼吸や発声、舌などの発語器官を強化します。苦手な発音を中心に単語や文章の発話訓練を行います。

【摂食・嚥下障害】
嚥下造影検査（VF：VideoFluorography）で飲み込みの状態を確認しながら、食事場面で食べたり飲んだりする訓練を行います。
口から食べられない患者さまも、口や喉の運動をしたり、刺激を与える事で、少しでも食べる楽しみが得られるようにしていきます。

【認知症・高次脳機能障害】
人の行動において基盤となる能力（注意・記憶・判断能力）を高めるための様々な訓練を行います。

「歴史ある風情の街・岡田」特集!

6月2日(日) 岡田の小川清掃へ参加しました。
きれいな川を維持することは、美化の面だけでなく、街の治安を守ることにもつながると実感しました。

7月7日(日) 今年も「岡田街並みフェスティバル」に参加しました。院長、副院長を始め20名のスタッフが、昨年と同様フリーマーケットと健康相談を行いました。健康相談は昨年の倍を上回る６７名の方のご来場があり、にぎやかで有意義な時間となりました。フリーマーケットの売り上げは知多市社会福祉事業へ寄付させて頂きました。

編集後記

先日患者さまと調理訓練をした時の話です。今回は患者さまの希望で餃子を作ったのですが、患者さまは私の予想を遥かに上回る作業スピードで作っていき、気が付けば70個も出来上がってしまい、みんなで美味しく頂いた事は最近の忘れられないエピソードです。
至らぬところもあるかと思いますが、次号も温かく読んで頂けると嬉しく思います。(作業療法士 井野)

西知多リハビリテーション病院　知多市岡田野崎13　TEL 0562-54-3500(代表)

＊外来受診の場合、他院からの紹介状・事前予約は必要ありません。
内科的な病気や症状、各部位のリハビリなどお気軽にご相談ください。